

あ い き つ

こんにちは。
釜山地方税務士会会長の崔相坤です。

本日、宮田義見会長および役員の皆様方が、お忙しい中、学術討論会のために釜山地方税務士会を訪問され、お会いできたことを非常に嬉しく思っています。

貴会と当会は、1991年からの友好親善関係によって交流が始まりました。その上、2005年から9回に及ぶ学術討論会を通じて、世情全般について相互情報を交換することで、より成熟した契機になっており、今後も相互理解と協力を基に、一層発展深化されていくでしょう。

この学術討論会は、毎回重要なテーマを定め、研究し、発表することで成果を上げてきました。今回は、韓国の付加価値税と日本の消費税を比較し、副題として共通で宗教法人の課税実態と韓国の租税教育を比較検討することで、両国の租税制度の特徴に対し、深く理解できると確信しています。

両会は、国家的に多くの違いがありますが、地理的にも文化的にも多くの同質性を持っており、この学術討論会が相互理解と友好をより一層緊密にするための意味深い場になることを信じています。

最後に、貴会の絶え間ない発展と宮田義見会長および役員の皆様方のご健勝とご健康を心より祈願いたします。

2014. 11. 20

釜山地方税務士会
会長 崔 相 坤

あいさつ

アンニョン ハシムニカ。(こんにちは)
近畿税理士会会長の宮田義見でございます。

まず、10月2日開催の近畿税理士会設立50周年記念式典及び記念祝宴に際しましては、崔相坤会長様はじめ多数の役員の皆様にご臨席を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。本日は、皆様方と、この釜山の地で再会できたことを大変うれしく思います。

さて、貴会と当会は1991年に友好親善合意書を調印し、その後、2005年からはより実質的な交流を深めるため、毎年、学術討論会を開催し、充実した親善関係を築いて参りましたが、本年は記念すべき10回目の学術討論会となりました。

学術討論会に対する評価は、近畿税理士会の内外で年々高まっており、大きな成果を上げています。

今回は、韓国の付加価値税と日本の消費税、また、宗教法人の課税実態について、具体的事例も含め、研究成果が発表されますが、両国の制度の特徴などについて理解を深めることができるものと確信いたします。

また、日本では、本年の税理士法改正において、租税教育が税理士会会則の絶対的記載事項となりましたが、貴国における租税教育の状況をお伺いしたいと存じます。

本日の学術討論会が両会の相互理解と友好をさらに深める有意義なものとなりますことを、心から念願しております。

結びにあたり、貴会のますますのご発展と崔会長様並びに役員皆様のご健勝とご隆盛を心からお祈り申し上げて、ご挨拶いたします。

カムサハムニダ。(感謝いたします。)

2014年11月20日

近 畿 税 理 士 会
会 長 宮 田 義 見